

取付説明書 —基本・連棟—

●このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。

<施工の前に>

■正しく施工、組付をしていただく為に、施工前に必ず取付説明書をお読みください。

■設置場所の確認

- 施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
- 施工場所の気象条件（風、雪など）に合った商品かどうか確認してください。
- 強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上などの施工は避けてください。

■梱包明細で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

- 本テラスは大出幅タイプのジェイテラス(7尺~10尺/積雪地用6尺)です。
ジェイテラス(3尺~6尺)との互換性は、まったくありません。

■組立て、施工途中では

- ボルト、ビスは弊社純正品の規定本数を確実に締め付け固定してください。
- 施工説明書の順序どおりに組付けてください。製品の強度など、性能を低下させる場合があります。
- アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 表面にキズをつけた場合、腐食の原因となりますので補修塗料で補修してください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。

■基礎工事について

- 基礎部の埋め込み深さは製品ごとに決めてありますが、現場によって(堅牢な地盤、軟弱な地盤など)基礎部のコンクリートの量(体積)を十分配慮してください。
- 塩分を含む砂は使用を避けてください。腐食の原因となります。やむをえず使用する場合は、十分水洗いしたものを使用してください。
- コンクリート(またはモルタル)には、急結剤は使用しないでください。使用しますとアルミが腐食する原因となります。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因となります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは速やかに拭き取ってください。

■製品の改造は絶対にしないでください。

■組立完成後はボルト、ビスなどにゆるみがないか確認してください。

■施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。

■梱包明細書 (RタイプとHタイプの柱梱包は共通です。それ以外の梱包には互換性がないのでご注意ください。)

①柱セット

名 称	員 数	
	1本入	2本入
柱	1	2
丸樋(柱にテープ止め)	1	1
柱・桁ジョイント材	1	2
柱・桁組付裏板	1	2
柱・桁ジョイント材組付六角ボルト M8×16セムス(バネ、平座金)	2	4
柱組付ネジ M5×12トラス	4	8
アンカー棒	1	2

②屋根材セット

名 称	員 数	
	2枚入	3枚入
屋根材	2	3

④桁セット

名 称	基 本			連 棟	
	1.0間	1.5間	2.0間	1.5間	2.0間
桁	1	1	1	1	1
垂木掛(垂木掛ビート材挿入済)	1	1	1	1	1
屋根材受け(桁に挿入済)	3	4	5	4	5
屋根材押え	3	4	5	4	5
桁キャップ(右・左)	各1	各1	各1	—	—
垂木掛キャップ(右・左)	各1	各1	各1	—	—
屋根材押え取付ネジ φ4×12トラス1種	6	8	10	8	10
コーキング剤	1	1	1	1	1

④桁セット(つづき)

名 称	基 本			連 棟	
	1.0間	1.5間	2.0間	1.5間	2.0間
桁スリーブ	—	—	—	1	1
垂木掛け取付コーチスクリュー φ6×70六角	4	5	6	5	6
桁キャップ取付ネジ φ4×12トラス1種	4	4	4	—	—
桁スリーブ固定ネジ φ4×13ピアス	—	—	—	4	4
アタッチメント	1	1	1	1	1
アタッチメントパッキン	1	1	1	1	1
アタッチメントジョイナー	1	1	1	1	1
ドレンエルボ	1	1	1	1	1
ドレンエルボキャップ	1	1	1	1	1
エルボ	2	2	2	2	2
雨樋キャップ(A・B)	各1	各1	各1	予備各1	予備各1
丸型サドル	2	2	2	2	2
サドル受け	2	2	2	2	2
雨樋キャップ取付ネジ φ5×12トラス3種(生地)	2	2	2	予備2	予備2
アタッチメント取付ネジ φ4×12トラス1種(生地)	2	2	2	2	2
サドル取付ネジ φ4×19ナベテクス(生地)	2	2	2	2	2
接着剤	1	1	1	1	1
取付説明書	1	1	1	—	—
取扱説明書(テラス)	1	1	1	—	—

⑤垂木セット

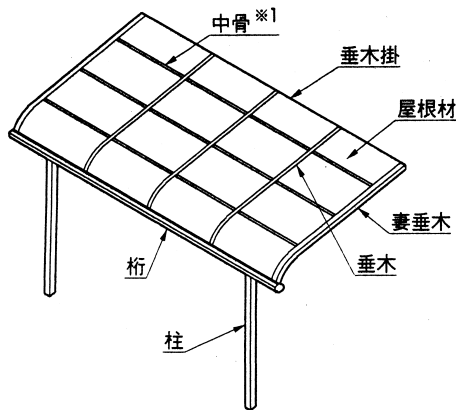
名 称	員 数				
	2本入				
	6尺 (積雪地用)	7尺	8尺	9尺	10尺
垂木	2	2	2	2	2
垂木カバー	2	2	2	2	2
中骨	6	6	6	8	8
垂木取付ネジ φ4×12トラス3種	8	8	8	8	8
Rタイプ垂木カバー取付ネジ φ4×12ナベ先割2種(ゴムワッシャー付)予備含む	26	28	32	36	38
Hタイプ垂木カバー取付ネジ φ4×12ナベ先割2種(ゴムワッシャー付)予備含む	20	24	26	30	32
中骨取付ネジ φ4×12トラス1種	12	12	12	16	16

⑥妻垂木セット

名 称	員 数									
	2本入					3本入				
	6尺 (積雪地用)	7尺	8尺	9尺	10尺	6尺 (積雪地用)	7尺	8尺	9尺	10尺
垂木	—	—	—	—	—	1	1	1	1	1
妻垂木(右)(左)	各1	各1	各1	各1	各1	各1	各1	各1	各1	各1
垂木カバー	—	—	—	—	—	1	1	1	1	1
妻垂木カバー(右)(左)	各1	各1	各1	各1	各1	各1	各1	各1	各1	各1
中骨	3	3	3	4	4	6	6	6	8	8
垂木取付ネジ φ4×12トラス3種	8	8	8	8	8	12	12	12	12	12
Rタイプ垂木カバー取付ネジ φ4×12ナベ先割2種(ゴムワッシャー付)予備含む	26	28	32	36	38	38	41	47	53	56
Hタイプ垂木カバー取付ネジ φ4×12ナベ先割2種(ゴムワッシャー付)予備含む	20	24	26	30	32	29	35	38	44	47
中骨取付ネジ φ4×12トラス1種	6	6	6	8	8	12	12	12	16	16

1.各部名称および基本寸法

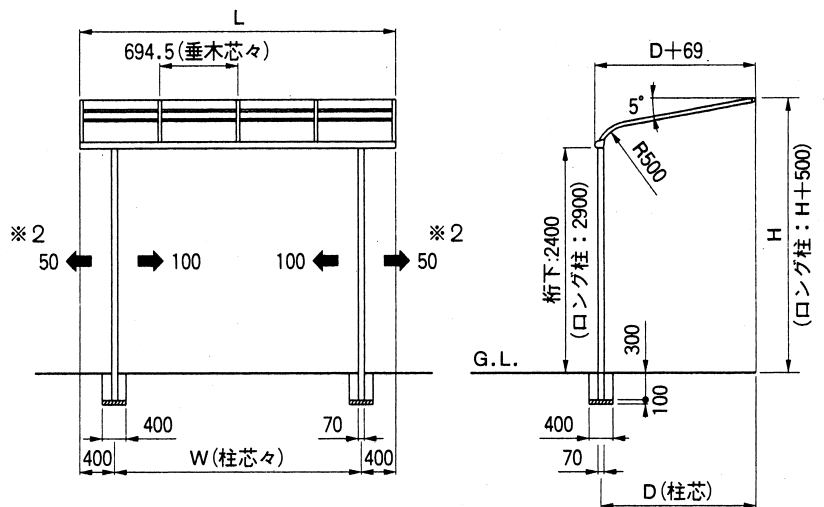
1-1 Rタイプ



※1 中骨は6尺(積雪地用), 7尺, 8尺
は各垂木間に3本ずつ9尺、10尺は
4本ずつとなります。

間口	L	W
1.0間	2123.5	1323.5
1.5間	2818	2018
2.0間	3512.5	2712.5

注) L寸法はキャップを含みません。

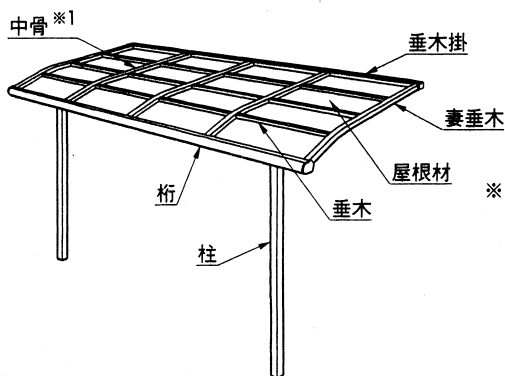


※2 柱の移動は上記内で施工してください。
外側に50mm以上移動しますと、雨樋部品が組付きません。

	6R (積雪地用)	7R	8R	9R	10R
D(mm)	1800	2100	2400	2700	3000
H(mm)	2907	2933	2960	2986	3012

Hは垂木掛キャップの上端までを示します。

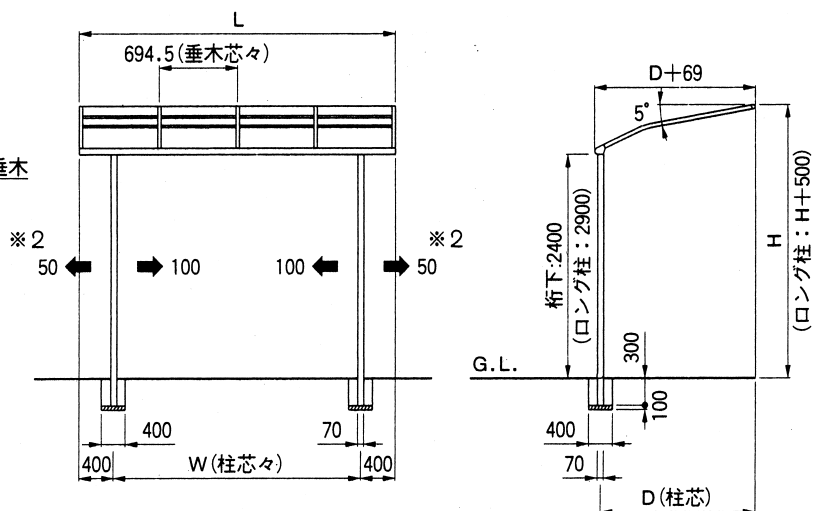
1-2 Hタイプ



※1 中骨は6尺(積雪地用), 7尺, 8尺
は各垂木間に3本ずつ9尺、10尺は
4本ずつとなります。

間口	L	W
1.0間	2123.5	1323.5
1.5間	2818	2018
2.0間	3512.5	2712.5

注) L寸法はキャップを含みません。



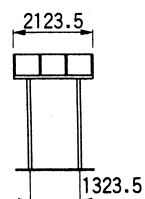
※2 柱の移動は上記内で施工してください。
外側に50mm以上移動しますと、雨樋部品が組付きません。

	6R (積雪地用)	7R	8R	9R	10R
D(mm)	1800	2100	2400	2700	3000
H(mm)	2871	2897	2923	2950	2976

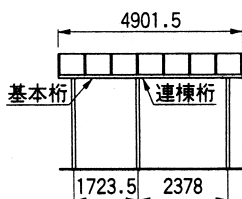
Hは垂木掛キャップの上端までを示します。

1. つづき

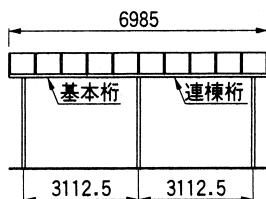
1.0間(基本)



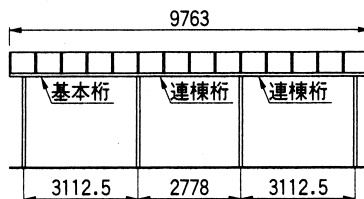
2.5間(基1.0間+連1.5間)



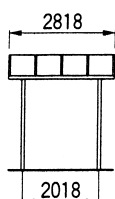
4.0間(基2.0間+連2.0間)



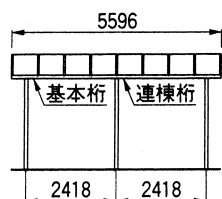
5.5間(基2.0間+連1.5間+連2.0間)



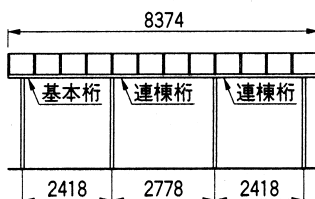
1.5間(基本)



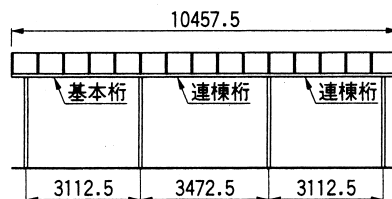
3.0間(基1.5間+連1.5間)



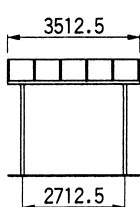
4.5間(基1.5間+連1.5間+連1.5間)



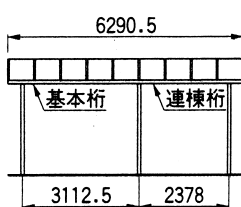
6.0間(基2.0間+連2.0間+連2.0間)



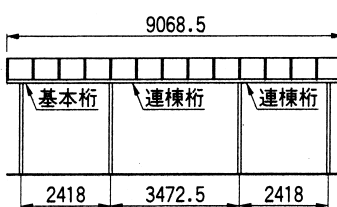
2.0間(基本)



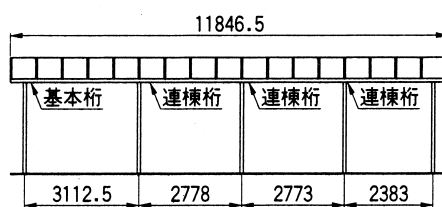
3.5間(基2.0間+連1.5間)



5.0間(基1.5間+連2.0間+連1.5間)

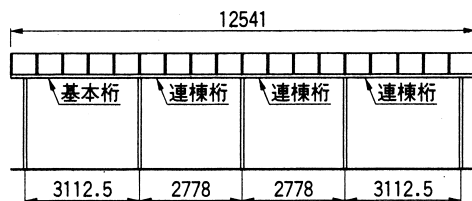


6.5間(基2.0間+連1.5間+連1.5間+連1.5間)



※ 基：基本 連：連棟

7.0間(基2.0間+連1.5間+連1.5間+連2.0間)



<注 意>

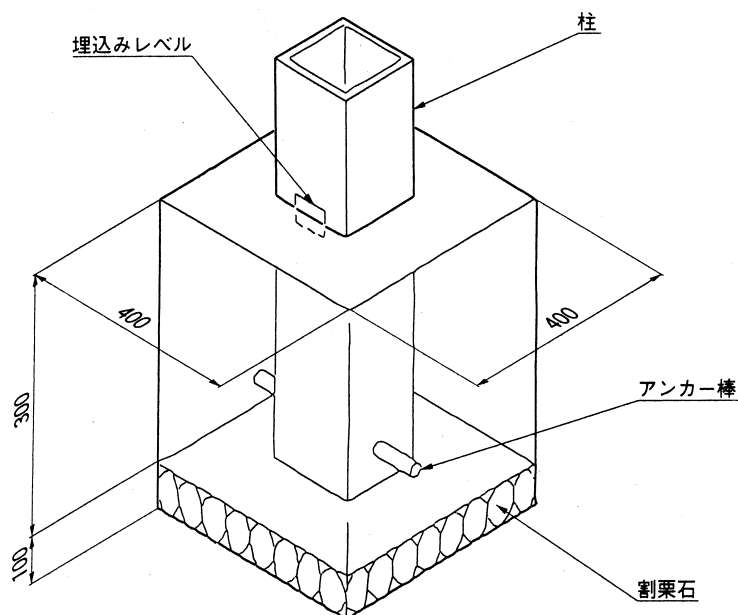
- 連棟仕様は開口2.5間からです。左側を基本桁とし右側へ連棟桁を取付けてください。連棟部の柱は、桁連棟部に設置してください。RタイプもHタイプも桁寸法、柱施工位置は同様です。

2. 規格表

●標準タイプ

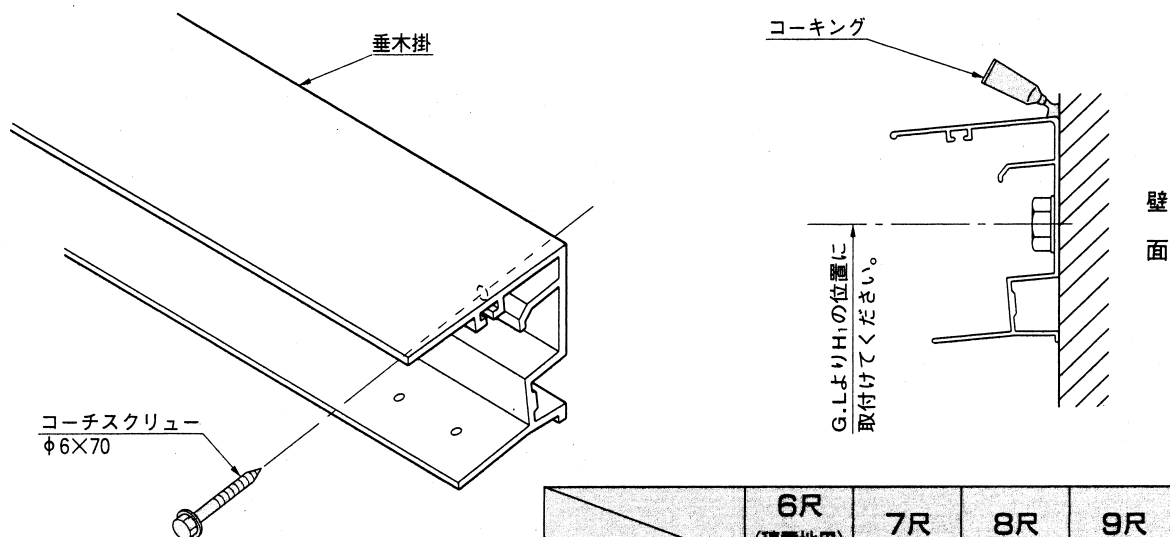
名 称		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間	3.5間	4.0間	4.5間	5.0間	5.5間	6.0間	6.5間	7.0間
柱セット (ロング柱セット)	1本入	—	—	—	1	1	1	1	2	2	2	2	3	3
	2本入	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
桁セット	1.0間	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	1.5間	—	1	—	—	1	—	—	1	1	—	—	—	—
	2.0間	—	—	1	—	—	1	1	—	—	1	1	1	1
連棟用桁セット	1.5間	—	—	—	1	1	1	—	2	1	1	—	3	2
	2.0間	—	—	—	—	—	—	1	—	1	1	2	—	1
垂木セット	2本入	—	1	1	2	2	3	3	4	4	5	5	6	6
妻垂木セット	2本入	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—
	3本入	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1
屋根材セット	2枚入	—	2	1	2	1	—	2	—	2	1	—	1	—
	3枚入	1	—	1	1	2	3	2	4	3	4	5	5	6

3. 基礎施工 (以後の組付けはRタイプで説明します。基本的な組付けはR・Hタイプ共通です。)



- ① コンクリート施工は骨組完了後に行ない硬化後、屋根材を組込んでください。
- ② アンカー棒は必ず施工してください。

4. 垂木掛けの取付け

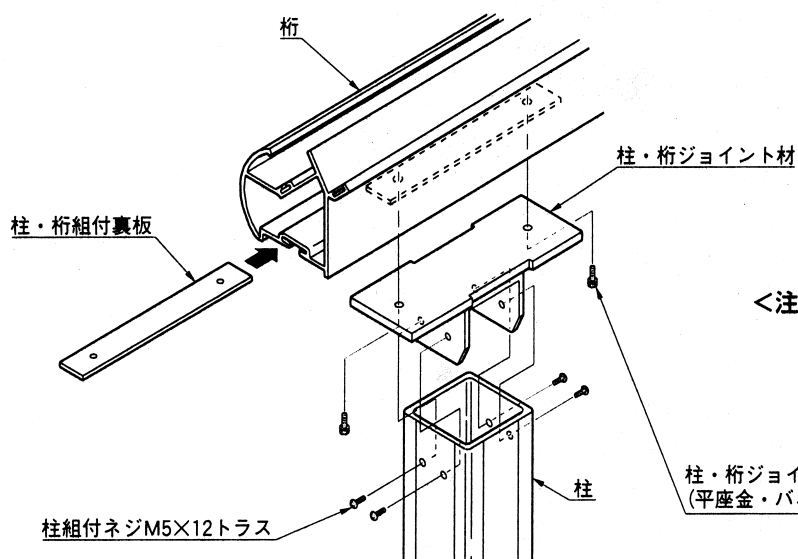


	6R (積雪地用)	7R	8R	9R	10R
Rタイプ(H1 mm)	2875	2901	2928	2954	2980
Hタイプ(H1 mm)	2839	2865	2891	2918	2944

<注 意>

- 施工後、垂木掛と壁面にはコーキングを施してください。
- ロング柱使用時は、H1+500で施工してください。

5. 柱と桁の組付け



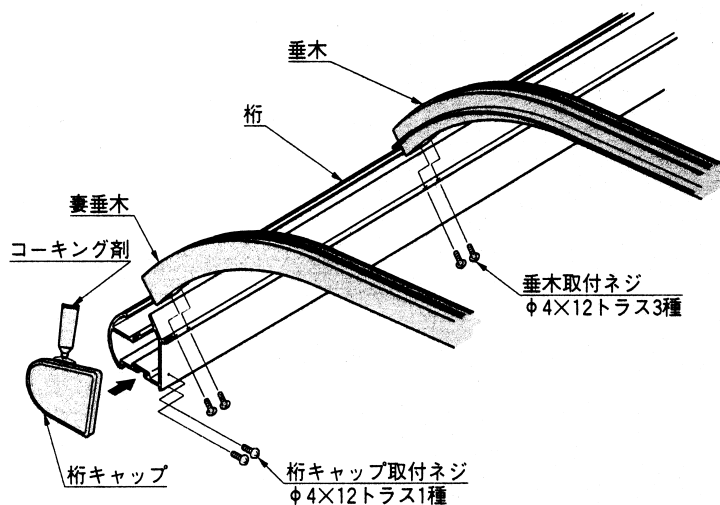
- 柱と桁を左図のように柱・桁ジョイント材で組付けてください。

<注意>

桁には屋根材受けが挿入されています。
施工時に落とさないようにしてください。

柱・桁ジョイント材組付六角ボルトM8×16
(平座金・パネ座金付)

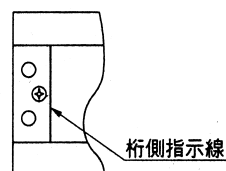
6. 妻垂木と垂木の取付け



- 図のように妻垂木と垂木を桁、垂木掛の下側からφ4×12トラス3種で固定してください。

<注意>

- 屋根材受けは必ず、垂木の間に一本くるようにしてください。(A図参照)
- この時、妻垂木・垂木の桁側・垂木掛側をテープ等で仮止めしておく作業が容易です。
- 組付順序として妻垂木(左・右)を先に取り付けてください。
- Hタイプの垂木の下側には指示線が引いてありますので、線のある方を桁側に施工してください。(A図参照)



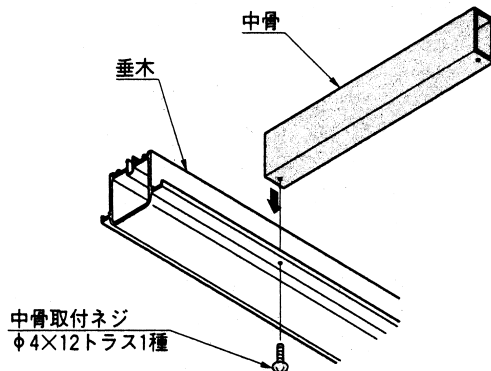
A図

- 桁キャップ・垂木掛キャップにコーキングを施し、取付けてください。

<注意>

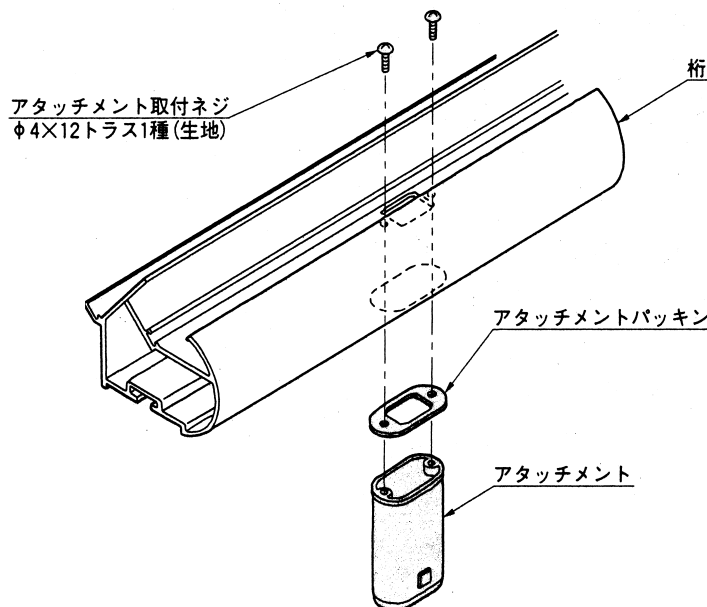
- コーキングが不十分ですと、雨漏りの原因となりますので、御注意ください。
- 桁キャップを取付ける際は、桁キャップにφ3の下孔をあけてください。

7. 中骨の取付け



- ① 中骨を、垂木に中骨取付ネジを用いて固定してください。

8. アタッチメントの取付け

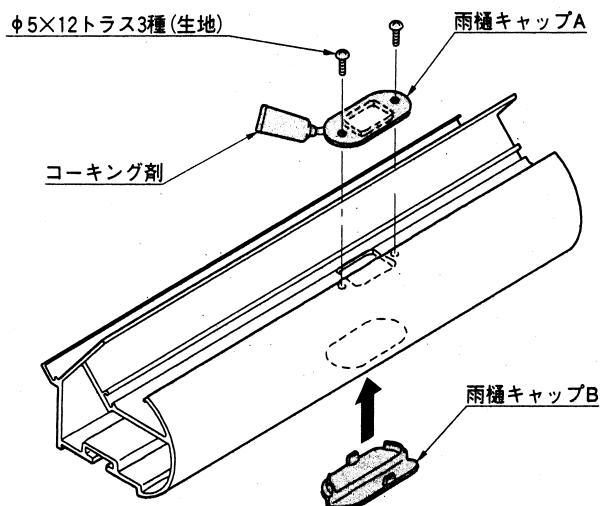


- ① アタッチメントパッキンとアタッチメントをφ4×12トラス1種で取付けてください。

<注意>

- 屋根材を先に組付けますと、アタッチメントの取付けが困難となりますので、ご注意ください。

9. 雨樋キャップの取付け



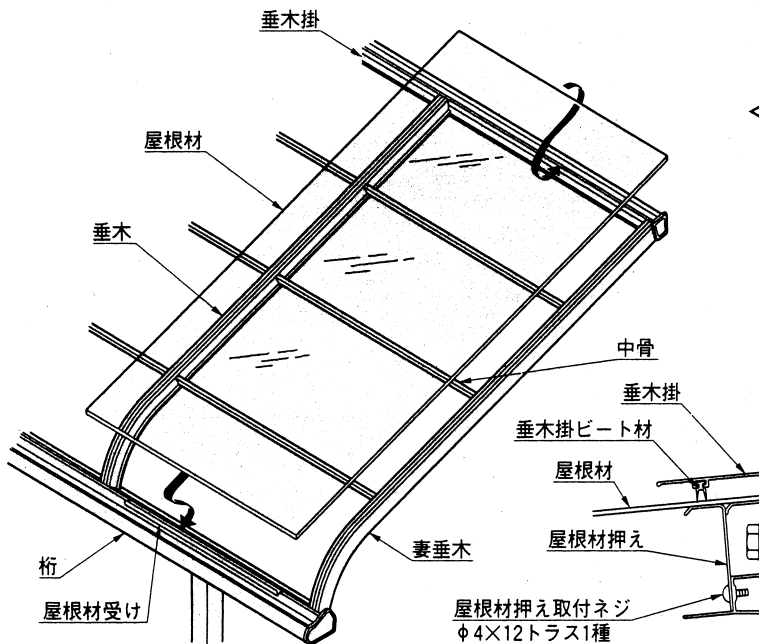
- ① 雨樋キャップAをφ5×12トラス3種で取付け、周囲にコーキングを施してください。

- ② 雨樋キャップBを桁の下側から、アタッチメント取付孔に取付けてください。

<注意>

- コーキングが、不十分ですと雨漏りの原因となりますので、御注意ください。屋根材を先に組付けますと、雨樋キャップの取付けが、困難となりますので、ご注意ください。

10. 屋根材および垂木ビート材の取付け



- ① 屋根材を垂木掛に差込んでください。

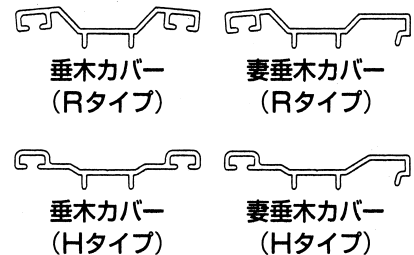
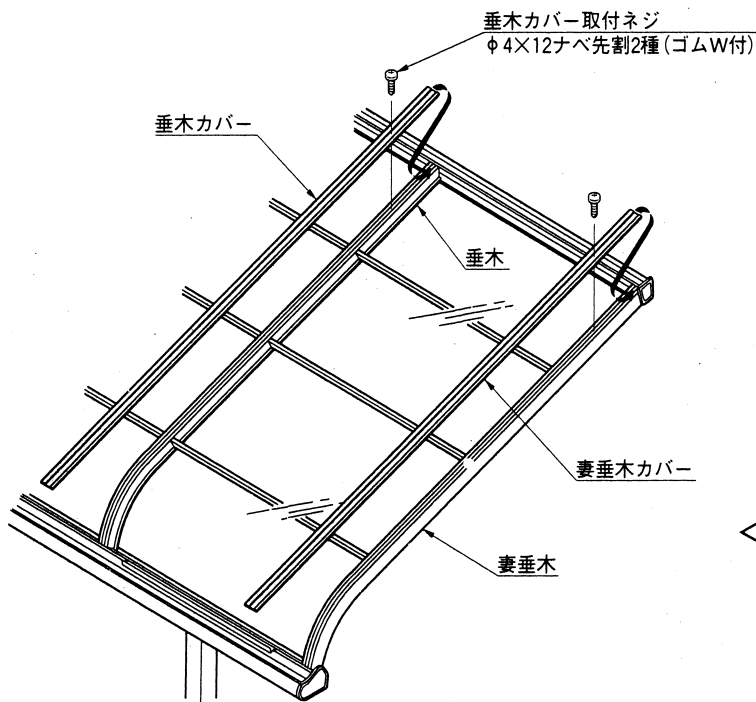
<注 意>

- 桁の屋根材受けに屋根材を差込み、垂木掛のみぞに押し込みます。このとき、たたきながら延ばすようにすると取付けが容易になります。
- 屋根材のマスキングシートは必ずはがしてください。
- 垂木掛ビート材は垂木掛に挿入されています。

- 必ず屋根材は左図のように垂木掛の奥まで入れてください。雨もれの原因となります。

- ② 屋根材押えを垂木掛にφ4×12トラス1種で固定してください。

11. 妻垂木カバーおよび垂木カバーの取付け

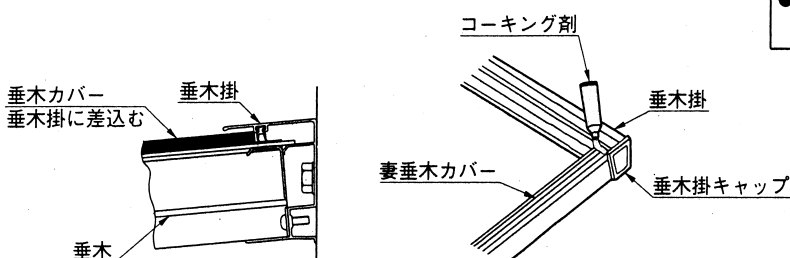


- ① 垂木カバーは左・右どちらかの妻垂木カバーより、1スパンごとに順次取付けてください。
- ② 垂木カバー施工後、必ず垂木カバー・妻垂木カバーと垂木掛の飲み込み部にコーキングを施してください。

<注 意>

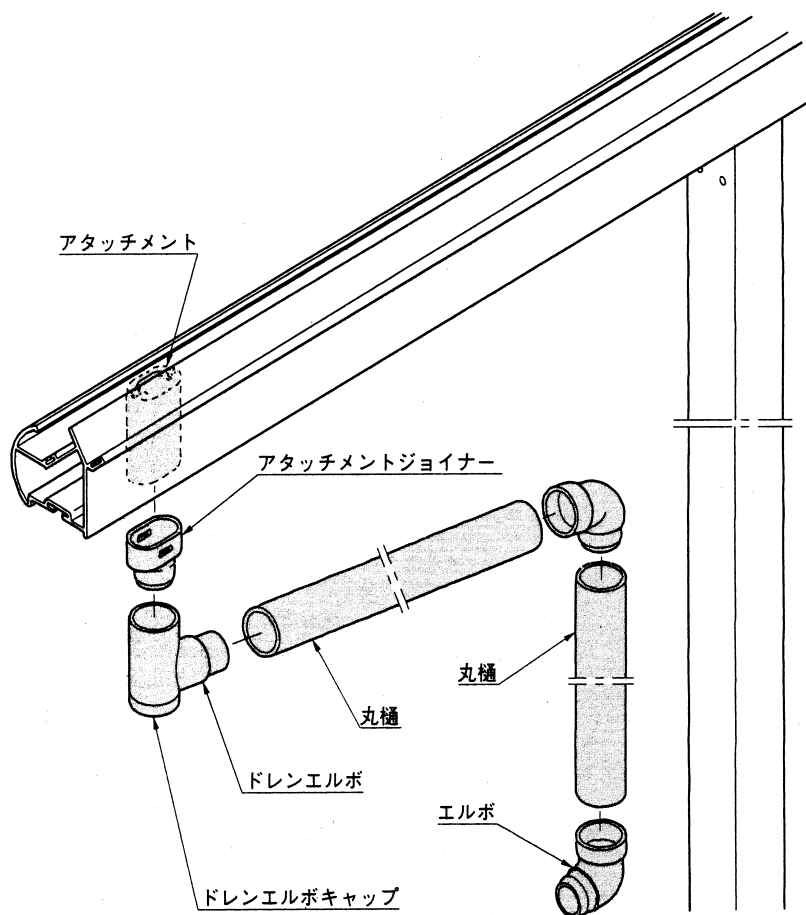
- 垂木カバー取付ネジは、垂木掛側から順次取付けてください。
- Hタイプの垂木カバー上側には刻印をしています。刻印を桁側にして施工してください。(A図参照)

- 必ず、垂木カバー・妻垂木カバーは垂木掛に飲み込ませてください。

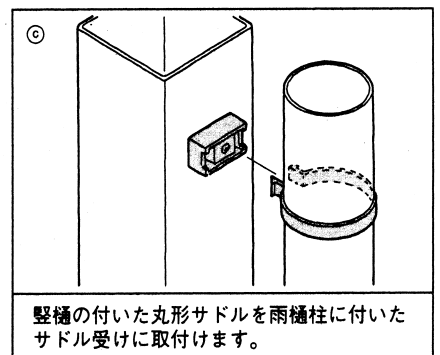
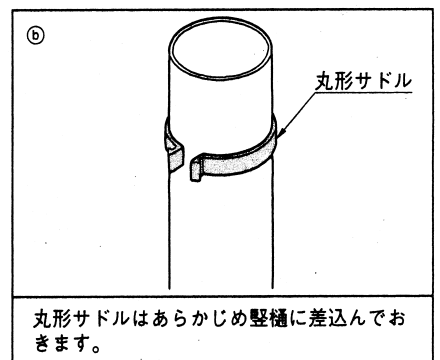
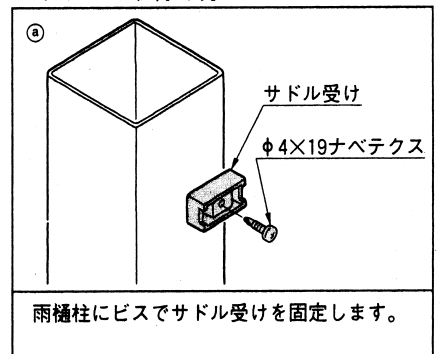


A図

12. 雨樋セットの取付け



● サドルの取付け方



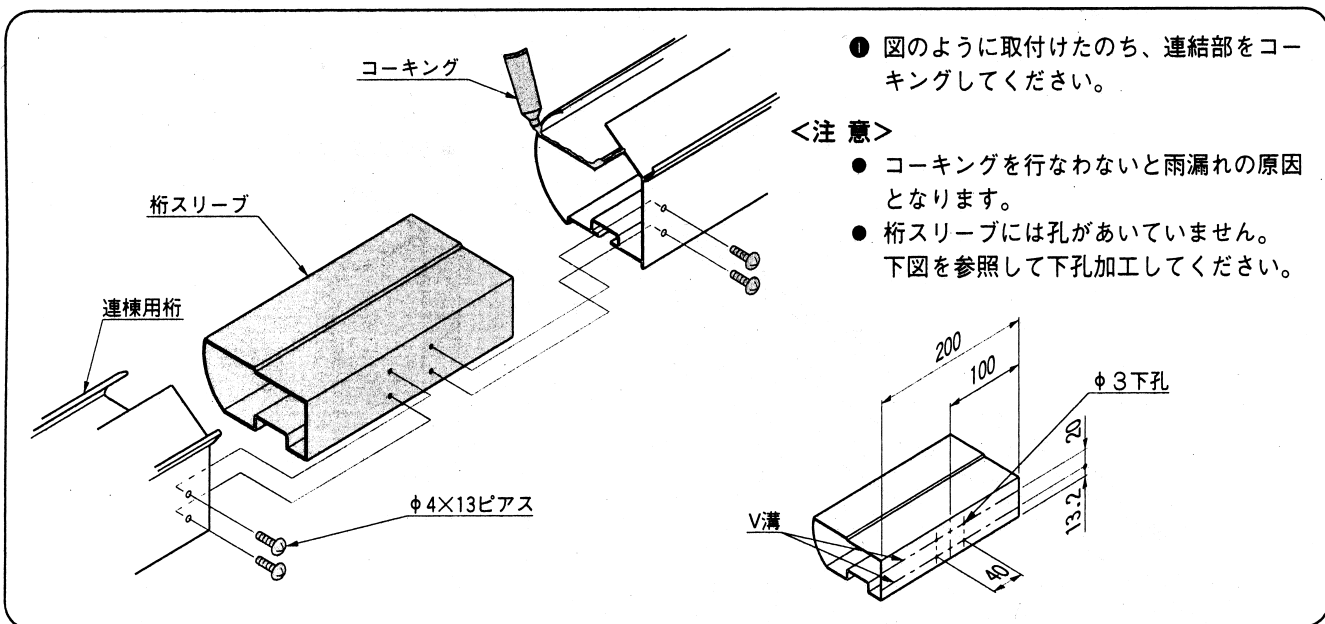
- ① 雨樋セットを図のように取付けてください。

<注意>

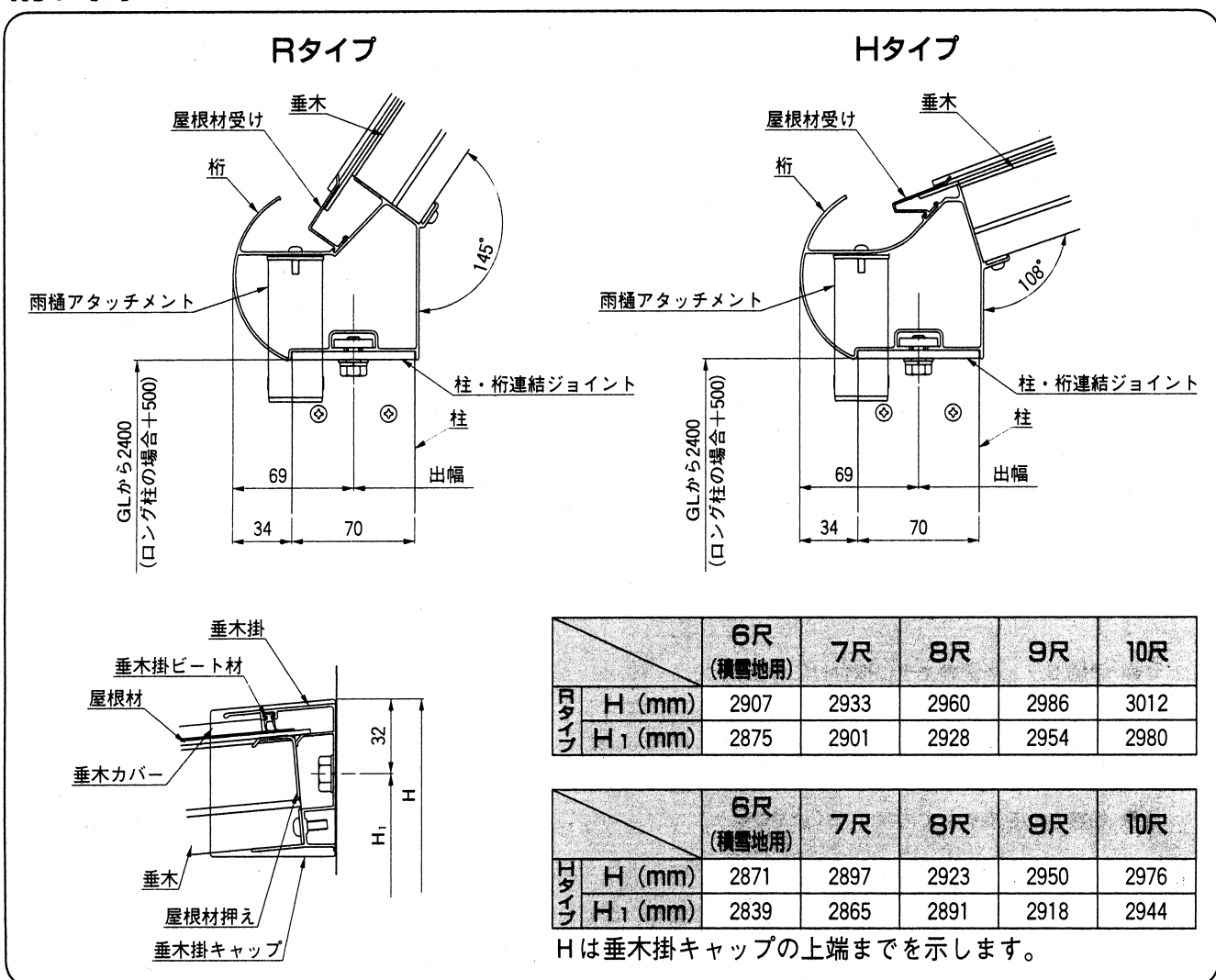
- 丸樋は、現場寸法に合わせて切断し、取付けてください。
- 各接合部を接着剤で固定してください。

一連棟一

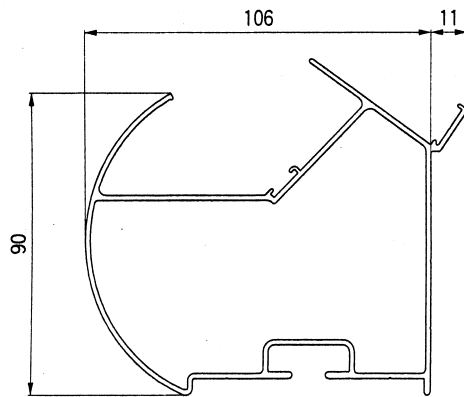
1. 桁の連結



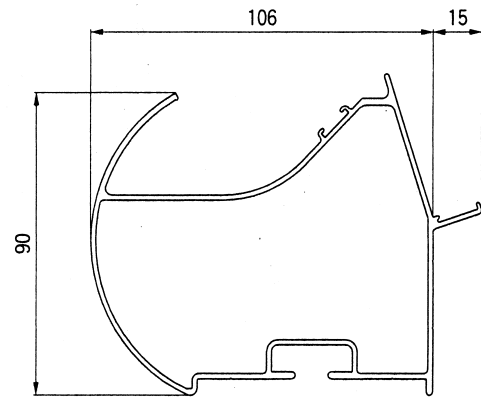
納り図



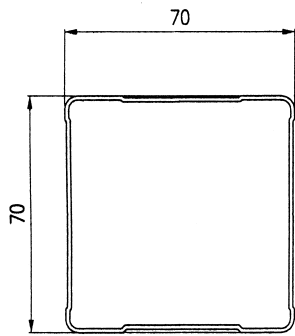
部材断面図



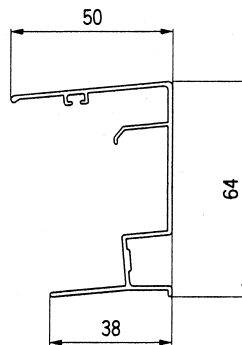
Rタイプ桁



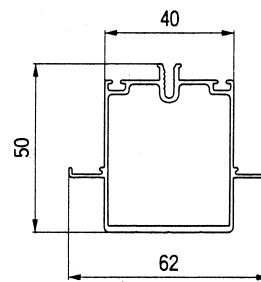
Hタイプ桁



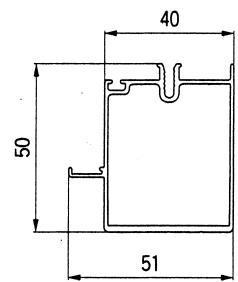
柱



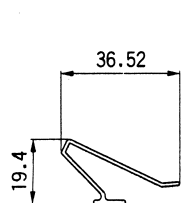
垂木掛け



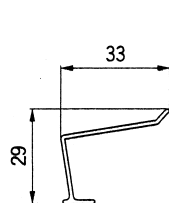
垂木



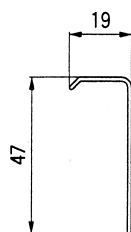
妻垂木



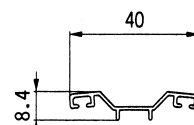
Hタイプ屋根材受け



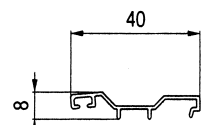
Rタイプ屋根材受け



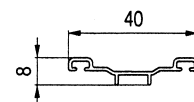
屋根材押え



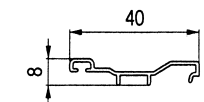
垂木カバー
(Rタイプ)



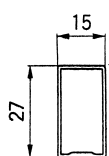
妻垂木カバー
(Rタイプ)



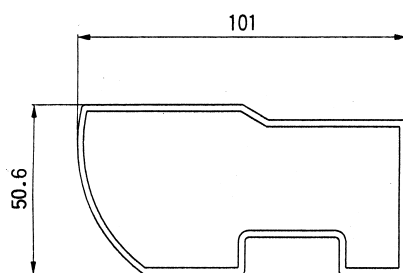
垂木カバー
(Hタイプ)



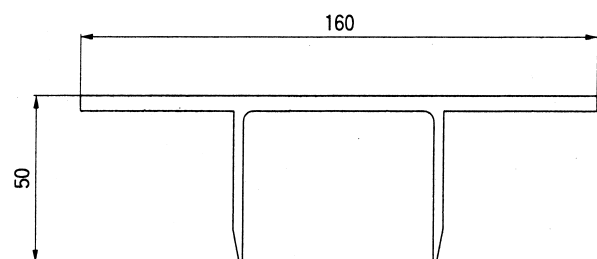
妻垂木カバー
(Hタイプ)



中骨



桁スリーブ



柱・桁ジョイント材



工事店様へ

- 豪雪地帯での施工は避けてください。
- みだりに改造、変更はしないでください。
- 仕上げ後、本体についているモルタルを完全に拭き取ってください。
硬化後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意ください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様へお渡し願います。
- ご使用いただきましてありがとうございました。

施主様へ

- 7尺～10尺タイプは、積雪が20cmを越えないうちに必ず雪おろしをしてください。
- 積雪地用6尺タイプは、積雪が50cmを越えないうちに必ず雪おろしをしてください。
- 絶対に屋根の上に乗らないでください。

取脱コード

E070

98-03A
98-10B